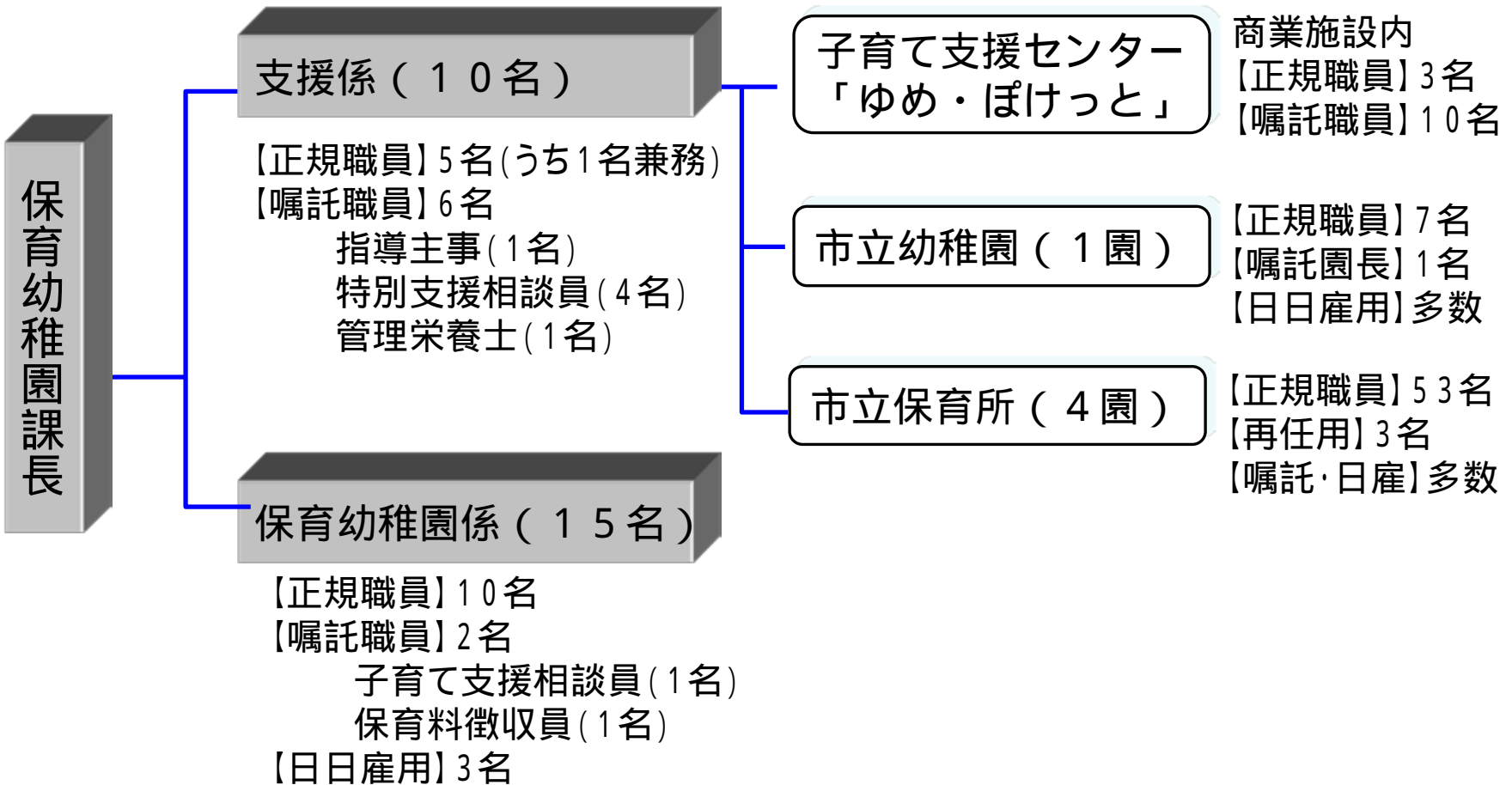


保育幼稚園課の組織体制

【所管施設】

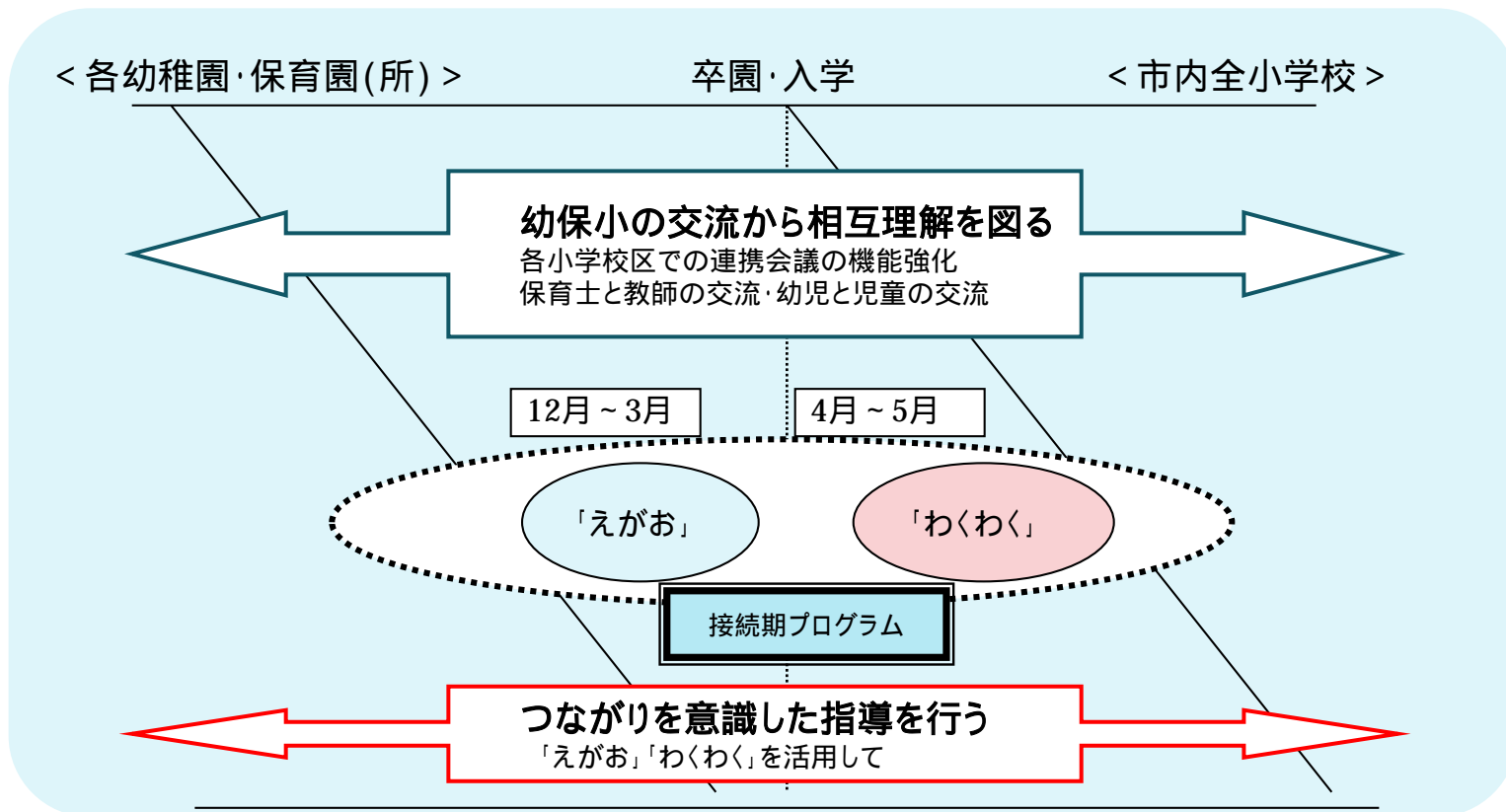


幼保一元化後の私立幼稚園との関係

1 幼保小連携

「小1プロブレム」の社会問題化に対処するために、幼児教育から小学校への接続期における、子どもの育ちと学びの連続性を明確にした幼保小連携を進めます

- ・平成17年から担当課（現・保育幼稚園課）に指導主事を配置
- ・幼保小連携プログラム「えがおわくわく」を利用した幼保小連携の実践



幼保一元化後の私立幼稚園との関係

2 幼保における特別支援体制の充実

- ・平成21年から特別支援相談員を配置

園や保護者からの要望を受けて、園を訪問し、園児のアセスメントを行なった上で、職員や保護者に対応や支援のアドバイスを行ないます。
「個別の指導計画・支援計画」の作成についても指導を行い、小学校への円滑な接続につなげます。

3 管理栄養士による食育指導

- ・平成17年から管理栄養士を配置

当初は主に公立保育所の食育指導、献立作成等を実施



現在は市内の保育園や幼稚園・認定こども園での園児・職員への食育指導、アレルギーのある幼児の就学アドバイスを行っています。

(経緯)

平成20年度～ 全認可保育所での園児・職員への食育指導を開始
(認可保育所は食育指導計画を作成)

平成21年度～ 全幼稚園・認定こども園での園児・職員への食育指導を開始

4 認定こども園運営費補助事業

「佐賀県安心こども基金」の認定こども園事業費を活用し、幼稚園型認定こども園の保育所機能部分に関する事業費の一部を補助することにより、市内における保育に欠ける児童の受け入れ体制を充実させ、待機児童の解消を図ってきました。

私立幼稚園連合会からの要望や佐賀県からの働きかけを受けて、平成21年度から予算化

年度	対象園	補助額
21	5園	20,640千円
22	9園	47,885千円
23	11園	74,434千円
24	14園	91,343千円
25	16園	149,957千円
26	17園	191,938千円

5 私立幼稚園預かり保育推進事業

幼稚園における預かり保育のニーズに対応するため、私立幼稚園の預かり保育機能の強化、園施設の有効利用及び待機児童の解消を目的として、その経費の一部を補助。なお、「佐賀県私立幼稚園預かり保育推進事業」とは別途、市の単独事業として実施しています。

平成16年度に市内の5園でモデル事業として実施したのを皮切りに徐々に対象園を増やして、平成20年度から全園を対象とした。

年度	対象園	補助額
20	16園	21,851千円
21	19園	25,455千円
22	21園	28,333千円
23	20園	25,790千円
24	22園	30,790千円
25	22園	32,940千円
26	23園	34,104千円

6 私立幼稚園特別支援教育奨励費補助事業

障がい児保育に対するニーズに対応したサービスを拡充するため、幼稚園の保育機能を強化し、私立幼稚園への障がい児の受け入れを促進することで、障がいを持つ子どもと家庭への支援及び幼児教育の振興を図るため、障がい児の受け入れを実施する市内の私立幼稚園に対し、その経費の一部を補助。なお、「佐賀県私立幼稚園特別支援教育費補助金」とは別途、市の単独事業として実施しています。

年度	対象園	補助額
20	15園	7,040千円
21	20園	8,559千円
22	19園	9,620千円
23	23園	10,552千円
24	25園	13,704千円
25	30園	17,885千円
26	30園	19,322千円

幼保一元化後の私立幼稚園との関係

7 佐賀市私立幼稚園・認定こども園連合会との意思疎通

下記のような取り組みをとおして、継続的な意思疎通を図ってきました。

- ・同連合会への研修費等の補助を実施（毎年度）
- ・同連合会から佐賀市への要望書を受け、回答を行ってきた（毎年度）
- ・同連合会の副会長を佐賀市の子ども・子育て会議の委員に任命
- ・同連合会のほか、私立幼稚園や認定こども園の団体で主催される説明会（勉強会）等にお声かけをいただいた場合には、可能な範囲で参加
- ・同連合会と佐賀市（市長，教育長）を中心とした懇談会等に、担当課長や担当者を含めた形で参加

幼保一元化後の私立幼稚園との関係

8 その他

1～7のような体制をとりつつ、保育所・幼稚園に関連する下記のような事務事業を担当課として実施してきたため、新制度が開始される以前から、保育園事業者・私立幼稚園事業者双方において、市の担当窓口として、定着してきました。

【幼稚園関連】

- ・ 就園奨励費補助金

【保育園関連】

- ・ 入所申請（利用調整）
- ・ 運営費支弁
- ・ 特別保育等補助事業
- ・ 施設整備

子ども・子育て支援新制度の開始に向けて

事業者に向けた説明会等の実施状況

概ね同種の内容を保育園事業者に対しても実施

内容	実施日
みなし確認・利用定員の設定について	平成26年 8月
利用定員の設定・確認申請書について	平成26年 9月
入所・更新手続き等について	平成26年10月
新規入園児童・支給認定手続き等について	平成27年 2月
施設型給付費請求・支払い事務等について	平成27年 3月
～新制度開始後～	
施設型給付にかかる加算申請事務について	平成27年10月
同上(2回目)	平成27年12月

平成27年度私立幼稚園における事業の状況

地域型保育事業

私学助成の幼稚園のうちの1園が地域型保育事業（小規模保育B型）を実施

地域子ども・子育て支援事業

- **延長保育事業**

認定こども園 22園

- **一時預かり事業**

【一般型】 認定こども園 5園

【幼稚園型】 認定こども園 15園（要件を満たした全園）

幼稚園（施設型給付） 1園

- **地域子育て支援拠点事業**

認定こども園 1園

その他 小さな工夫

平成26年4月、新制度準備のためとの意図は全くなかったが、課の担当者名と連絡先を明示した一覧を、市内の全ての小学校（教務主任）、幼稚園、保育園等に送付し、施設内での共有をお願いしました。

平成27年度 佐賀市 保育幼稚園課 電話連絡先

氏名等		業務名
保育幼稚園係 40-7286	課長 一番ヶ瀬	課の総括
	副課長兼係長 上野	係の総括
	永田	再チャレンジ研修、従事者研修、利用者支援
		【保育園】城東・光明・巨勢・城南・兵庫・ちえんかん・小部・あかつき・なかよし 諸富・みなみ・東与賀保育園・川副町
	松林	【こども】愛の泉・北川副・小鹿・さくら・博愛の里・諸富北・諸富南・龍谷 【地域型】まちの子ども保育園・兵庫託児所・さかのゆめ保育園
		【保育園】川原・成章・堀江・佐賀・城西・嘉瀬保育園・日新・中央・新栄保育園 久保田保育園
	野口	【こども】三光幼稚園・三光保育園・嘉瀬こどもの森・久保田幼稚園・神野・佐賀西部 新栄幼稚園・中折・ふたばこども園
		【地域型】白鳩保育園・ふじ託児所・そらいろ 【保育園】若葉・尚賢・城北・高木・和泉ふたば・鍋島保育園・開成・春日・川上保育園
	田中	支給認定、運営費
	高田	
増野	保育料の算定、延長保育、一時預かり（一般）、認可外保育施設	
二宮	幼稚園就園奨励費、一時預かり（幼稚園）	
廣瀬	新制度に関すること。	
池田	利用定員、確認申請 保育料の徴収 全体総括	

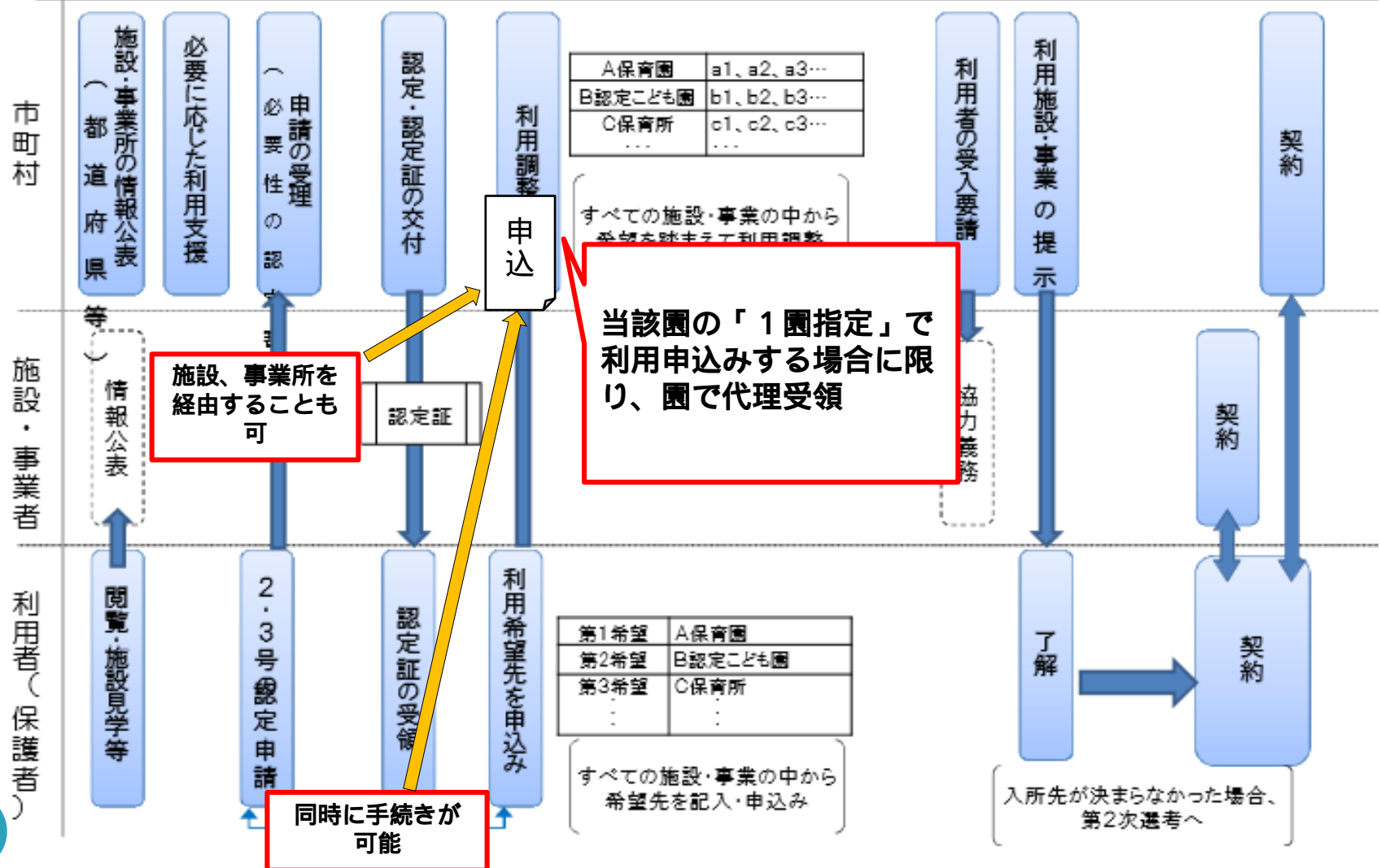


結果的に、その中で新制度準備の担当等も記載していたため、施設側が相談先を迷うことはなかったのではないかと思います。

その他 小さな工夫

一般的に想定している必要性の認定・利用調整の流れ（パターン1）

例えば10月～11月



その他

苦勞したこと

- ・市が利用調整し、入園児童を決定することへの抵抗感

従来から私立幼稚園は（幼稚園型認定こども園の認可外部分も含めて）、各園で園児募集を行い、入園者の決定を行ってきたため、市が利用調整を行い、入園する児童を決定するということに対しての抵抗感がありました。

- ・制度全体の、そもそもの仕組みが伝わりにくい

入園児童の決定や給付額の計算方法など、全体的に従来の「保育園」的な制度となったため、そもそもの仕組み・考え方が伝わりにくい上に、理解が得にくかったです。

私立幼稚園の来年度の状況（予定）

平成28年4月の私立幼稚園移行予定

幼稚園（私学助成）

認定こども園（2園）

幼保連携型 1園，幼稚園型 1園

幼稚園（私学助成）

幼稚園（施設型給付）（1園）

	幼保 連携型	幼稚園型	保育所型	幼稚園
平成27年4月	12園	9園	1園	16園(私学助成) 2園(施設型給付)
平成28年4月	13園	10園	1園	13園(私学助成) 3園(施設型給付)

公立幼稚園について

・ 利用料金の設定

今年度から公立幼稚園の児童についても、1号認定を行い、保護者の課税状況に応じた利用料金を決定しているが、平成27年度から3年間の経過措置を設けており、平成29年度から1号認定児童の公私間の差がなくなる予定。

・ 新制度における公立幼稚園の役割

平成20年度から、隣接する市立の小学校との幼小一貫教育に取り組んでおり、今後も佐賀市の幼児教育の拠点として、幼小連携を実践を進めていきたい。

また、特別支援事例への対応強化により、幼児教育の機会を保障する役割も担っていく必要があると考えています。

まとめ

新制度に移行した結果

- ・ 私立幼稚園にとってのメリット
私学助成、就園奨励費、認定こども園事業費補助など事務煩雑さの解消
- ・ 保護者、子どもにとってのメリット
施設の選択肢が増えた。所得に応じた保育料設定。（多子軽減）
- ・ 佐賀市にとってのメリット
利用調整において紹介できる施設（範囲）の広がり

今後の検討事案

- ・ 認定こども園における乳幼児（0・1歳児）の利用定員（受入枠）の増加
- ・ 認定こども園の幼稚園部分の園舎改築等への補助

空は、世界とつながっている。

2016 10/28 FRI → 11/6 SUN

佐賀熱気球 世界選手権

